



元気な大田原を創ろう！

鈴木たかしを励ます会

鈴木たかしを励ます会事務局 発行 / 鈴木たかしを励ます会会長 蜂巢 貞美
〒324-0043 栃木県大田原市浅香3-3-19 TEL.090-9969-8790 <https://suzuki-takashi.11furusato.com/>

3月定例議会一般質問などの報告

一般質問（令和3年3月5日）

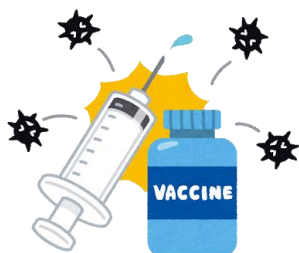
新型コロナワクチン接種、新年度の学校教育、不登校の児童生徒への学習支援、高齢者の健康や介護などについて一般質問を行いました。

新型コロナワクチン接種によるコロナに強い地域づくりについて

2月から開始された新型コロナワクチン接種はどのように行われることになるのか分からないことが多いため、検討状況などを質問しました。（今後国の方針が変わると、市の対応も変わる可能性があります。）

津久井市長より次の答弁がありました。

「乳幼児を預けられない方や高齢者で移動手段がない方については、お子様もしくはご自身のかかりつけ医での個別接種を選択していただくことを考えています。在宅の要介護者については、巡回診療等の方法が厚生労働省の資料で示されていることから、本市で実施可能かどうかを検討してまいりたいと考えています。」



また、村越保健福祉部長より次の答弁がありました。

「特養等の入所型の施設については、嘱託医とか協力医療機関がありますので、その施設で接種することが可能です。職員も一緒に優先順位であり、その施設で接種できます。医師と施設のやり取りの中で、期日とかやり方等を検討していただきます。」

通所型については、その施設で受けることはできませんので、かかりつけ医での個別接種もしくは集団接種になります。」



新年度における学びの充実について

新型コロナウイルス感染症拡大により、6月からの授業開始、修学旅行の中止となった一方で、大学入学共通テストが初めて実施されるなど教育を巡る状況は変わりつつあります。令和3年度の教育や令和2年度の学校の様子について質問をしました。

植竹教育長より次の答弁がありました。

「本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校では学校行事や校外活動が中止

となり、授業においては密集する活動や近距離での活動をするような学習活動が制限されました。そのような状況の中で、各学校ではコロナ禍だからできないと諦めるのではなく、何ができるのか、教職員が一丸となり知恵を絞り、様々な魅力ある教育活動を計画し、実践してまいりました。」

「一例ですが、小学校で実施する社会科の工場見学をリモートで実施しました。リモートの社会科見学により、普段なら入ることのできない場所を映像で紹介してもらえたり、教室のリラックスした雰囲気の中で児童が様々な質問をしたりと、意欲的に学習に取り組みました。また、中学校では、予定していた東京自主研修の訪問先に子供たち自らが連絡し、リモートでの研修を申込み、東京の企業や大学、専門学校等での研修を実現しました。さらに、中学校区で実施していた音楽発表会をリモートで実施し、進行役を中学生が担い、保護者も参観できるようにするなど工夫して実施しました。」



pixta.jp - 33404329

「カリキュラムの進捗状況ですが、本市は2月いっぱいにはほとんど終了しており、さらに充実のための授業ということで3月やっております。それから、理解度が不十分な生徒はどう対応しているかということですが、本市の小学校6年生まで、本年1月に学力テストを実施しました。その各学校においてテストの分析を検討を行いまして、理解が不十分な分野の補充をしていく予定となっております。」



コロナ禍における健やかな成長や学びの保障などについて

コロナ禍で支援が難しくなっている不登校、ヤングケアラー、児童虐待の子どもたちを巡る状況について質問しました。

村越保健福祉部長より次の答弁がありました。

「現在各学校では、教職員による家庭訪問や、可能であれば児童生徒を放課後等に来校させ、個別に学習内容を教えたり、教材を配布したりして、不登校の児童生徒に対する学習の支援を行い、学習の定着を図っています。また、必要に応じてスクールソーシャルワーカーによる訪問型支援も行っており、児童生徒の気持ちに寄り添いながら、個に応じた学習の支援も行っています。また、適応指導教室「すばる」においては、通室児童生徒一人ひとりの実態に応じた学習をすることにより、学習の意欲や態度を育むとともに、学校生活における不安を和らげるよう支援しています。」

「来年度からは、GIGAスクール構想により1人1台の端末が貸与されることから、適応指導教室「すばる」においてもICTを活用した学習支援※を進めてまいります。ICTを使って基礎基本を定着させたり、情報収集したりするなど、有効な活用方法が考えられます。今後不登校の児童生徒についても、ICTを有効活用できる手だてを探ってまいります。」

※内申書で登校扱いになるようです。

【令和2年3月、6月議会で、不登校の児童生徒に対して遠隔授業で学びを支援することを質問してきました】

コロナ禍における高齢者の健康や介護をめぐる状況などについて

コロナ禍での外出の控え過ぎによる特に高齢者の健康へ及ぼす影響や介護を巡る状況について質問しました。

村越健康保険部長より次の答弁がありました。

「地域包括支援センターでは、担当地区の高齢者の相談を随時受け付けて、新型コロナウイルス感染症対策に注意しながら活動しています。安心生活見守り事業は、社会福祉協議会に委託しており、一時的に見守りの方法をインターホンや電話による安否確認に変更していますが、継続して実施しています。」

「買物と簡単な修繕の支援は増えており、お互いに気かけ合う見守りと地域での支え合いが行われていますので、コロナ禍においても高齢者の生活を支える活動は継続してまいります。」



「要介護認定者数及び介護サービスの利用者数については大きな影響は見られませんが、特例措置等の周知を徹底することにより、介護が必要な方へ必要なサービスを提供できるよう努めてまいりたいと考えています。」

（参考）質問項目

上記以外にも次の質問をしましたが、答弁の内容は大田原市議会のホームページ※をご覧ください。※「大田原市議会 インターネット映像中継 鈴木隆」で検索下さい。

1 新型コロナワクチン接種によるコロナに強い地域づくりについて

- （1）ワクチン接種の希望者取りまとめ、調整など円滑に接種が行われるための準備状況や協力要請などについて伺います
- （2）2月4日に真岡市で実施された集団実施訓練などにより明らかになったことやワクチン接種準備へのその活用について伺います
- （3）乳幼児を預けられない方や高齢者で移動手段が無い方、在宅の要介護者など会場等でのワ

クチン接種を希望しても受けられない方への支援や配慮などについて伺います

- （4）単身赴任者や妊娠前の接種などの接種場所や時期の弾力的な調整について伺います
- （5）重い基礎疾患を抱えた高齢者や外国人等のワクチン接種による副反応などに特に不安や心配を抱える方々への支援などについて伺います

2 新年度における学びの充実について

- （1）令和3年度の学びの保障についての基本的な考え方を伺います
- （2）令和3年度に目指す学力向上、校外学習、課外活動など魅力や特色のある学習意欲を高める教育の充実について伺います
- （3）GIGAスクール構想の本格的実施に向けた環境整備、研修などの準備状況とその活用による教育の質の向上について伺います
- （4）令和3年度政府予算案に計上された学習者用デジタル教科書普及促進事業（小学校5・6年生1教科、中学校各学年2教科）による教育力の向上などについて伺います

3 コロナ禍における健やかな成長や学びの保障などについて

- （1）不登校の児童生徒への学習支援について伺います
- （2）ヤングケアラーの現状とその児童生徒を巡る健やかな成長と学びを保障するための支援などについて伺います
- （3）コロナ禍によりリスクが高まっている児童虐待の現状、早期発見及び未然に防ぐための取組みについて伺います

4 コロナ禍における高齢者の健康や介護をめぐる状況などについて

- （1）高齢者の健康状況の把握やその状況などについて伺います
- （2）公園等でのラジオ体操や運動の紹介などによる高齢者の運動の動機づけやその他の健康を増進するための取組みについて伺います
- （3）介護認定者数、デイケア等の利用者数など介護をめぐる状況について伺います

(4) 安全で安心な介護サービスのための指導や
栃木県が高齢者施設等の職員を対象として実
施する新型コロナウイルス感染症の抗原検査
などの状況とその情報発信について伺います

令和3年度予算案などの議案審議

大田原市議会で同意・賛成の採決が行われた
主な議案は次のとおりです。

○「令和3年度予算」

一般会計 303億3300万円（注1）（注2）
国民健康保険事業費特別会計 81億400万円
介護保険特別会計 68億6700万円
後期高齢者医療特別会計 7億3830万円 他

（注1）一般会計については、歳入のうち、【0
歳から2歳児の保護者等が支払う保育所へ
の負担金合計額が倍増し（2.16倍）】と子育て
家庭に大きな負担となることから所属会
派（大田原創生会）として反対。財政状況や
保護者の所得区分を15段階から8段階へ縮
小したこと等から大幅な増額。

家庭によって月に1万円以上（2人以上の
場合にはさらに増えます）の出費になる可能
性があります。

合併するので、那須塩原市の所得区分（全
国的に少ない）に合わせるため等との説明で
した。厳しい財政状況とコロナ禍の影響によ
り、聖域のない予算の見直しを行った結果、
約5000万円の負担増となりました。

（注2）道路橋りょう費の予算が52%減額（2
年連続削減）になっていますが、東日本大震
災から10年を迎えた地域インフラ強靱化や
新興住宅地開発などへ対応するために今後
の補正予算などによる追加の予算確保を予
算審査特別委員会で要望しました。

○「大田原市一般職の職員の給与に関する条例
の改正」（令和3年度）

一般職員の地域手当を6%から3%へ1年間

減額。

○「大田原市指定地域密着型サービスの事業の
人員、設備及び運営に関する基準を定める条
例等の改正」「大田原市介護保険条例の改
正」（令和3年4月1日から）

国の制度改正により、介護保険料や介護事業
の基準が変更になります。

○「大田原市自家用有償バス設置条例の改正」
（令和3年4月1日から）

市バスの佐久山・親園線が廃止され、デマン
ドタクシーが利用できるようになります。な
かまち循環線等についても、始点・終点の変
更を含めて停留所の変更を確認してくださ
い。

○「大田原市道の駅那須与一の郷の指定管理者
の指定」（令和3年4月1日から5年間）
株式会社八百屋蔵人を指定

○「財産の処分」

ゆづかみ保育園及びゆづかみ子育て支援セ
ンターの民営化に伴う建物の売却。

○「令和2・3年度補正予算」

小中学校レバー式水道蛇口設置
小中学校大型モニタ（電子黒板）
小中学校等におけるコロナ対策消耗品
コロナワクチン接種事業
ひとり親世帯臨時特別給付金の追加支給
市内大学生等への生活支援（1人5000円）
事業費の精算（コロナ禍による中止を含む）

鈴木たかしのホームページ

<https://suzuki-takashi.11furusato.com/>

QRコードはこちら⇒

